

スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.1
Q1 室内環境			0.40			3.2
1 音環境		2.6	0.15	2.6	1.00	2.6
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音		3.0	0.40	3.0	0.40	
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20	
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境		2.3	0.35	2.0	1.00	2.2
2.1 室温制御		3.7	0.50	3.0	0.50	
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性	マルチユニット型ヒートポンプ方式(冷暖同時)	5.0	0.38		-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式		1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境		3.4	0.25	3.5	1.00	3.5
3.1 昼光利用		4.6	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率	共同生活室の昼光率5.5% 居室の昼光率1.4%	5.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口			-		-	
3 昼光利用設備	共用部分にハイサイドライトを設置している	4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	1.0	0.15	
3.4 照明制御	ベット単位の細かな照明制御ができる	3.0	0.25	5.0	0.25	
4 空気環境		4.7	0.25	4.6	1.00	4.6
4.1 発生源対策		5.0	0.50	5.0	0.63	
1 化学汚染物質	全てF☆☆☆☆の材料を使用する。ホルムアルデヒド以外のVOCについても放散量が少ない建材を使用している。	5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気		4.0	0.30	4.0	0.38	
1 換気量	待合、診療室、病室全て、建築基準法を満たす換気量の1.4倍	5.0	0.50	5.0	0.33	
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上		-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		5.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視			-		-	
2 喫煙の制御	建物全体が禁煙	5.0	1.00		-	
Q2 サービス性能			0.30			3.1
1 機能性		3.4	0.40	4.4	1.00	3.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性	個室12.8㎡/床		-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応			-		-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観	住居・宿泊部の天井高2.5m以上		-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース			-		-	
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理		4.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計	内壁面は防汚性の高い仕上げ。軒先に害鳥が雨をしのげ、休憩できるような構造物を設置しない。	5.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保	各階トイレ等に掃除用流しの設置等している	4.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30			3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.50			
1 耐震性		3.0	0.80			
2 免震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.7	0.30			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:ビニル床シート 壁・天井:ビニルクロス貼	5.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	調理室、洗浄室にステンレスダクト等使用している	4.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水VP(B)給湯HT(B)排水VP(B)を使用	5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20			

2.4 信頼性			2.6	0.20		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		2.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			2.7	0.30	2.0	1.00	2.5
3.1 空間のゆとり			1.8	0.30	1.0	0.50	
1	階高のゆとり		1.0	0.60	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.2	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性	二重天井やPSを適宜設けているので、構造材を痛めることなく更新できる	4.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m =0.67	4.0	0.20		-	4.0
2	自然エネルギー利用	ハイサイドライトを採用している	4.0	0.10		-	4.0
3	設備システムの高効率化	BEI _m 非住宅 0.59 住宅(専有部) -	4.0	0.50		-	4.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)	LEDの採用	4.0	1.00		-	
	集合住宅の評価(3c)					-	
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
	集合住宅の評価					-	
4.1	モニタリング					-	
4.2	運用管理体制					-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1	節水	自動水栓や節水型便器の使用	4.0	0.40		-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60		-	3.2
2.1	材料使用量の削減		-	-		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ビニル系床材はグリーン購入法特定品目である。	3.0	0.22		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.11		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+ボードなので、躯体と仕上げ材が容易に分別可能	4.0	0.22		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20		-	3.7
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	
3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡剤を用いた断熱材を使用していない	5.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		LCCO ₂ 排出率 66%	4.3	0.33		-	4.3
2 地域環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25		-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	管理用車両の駐車施設の確保、駐車スペースの確保、進入路の幅を4mから6mに広げた	5.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制		3.0	-		-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3	光害の抑制		3.7	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていない	4.0	0.70		-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	